滋賀県水産試験場
（2026年11月26日時点）

2026年生まれのアユの資源状況

2026年生まれのヒウオ（アユ仔稚魚）の資源状況について、次のとおり評価をしています。

1. ヒウオ生息状況調査

【目的・手法】

網口1m×2m、長さ8mの網を、図1で示す水域（●）の水深約7m層で水平方向に約1km曳網し、採捕されたヒウオの数で生息量の水準を評価しています。

【調 査 日】 2026年10月13日、10月16日（1次）
11月 9日、11月13日（2次）
今後の調査予定：12月 8日、12月 9日（3次）

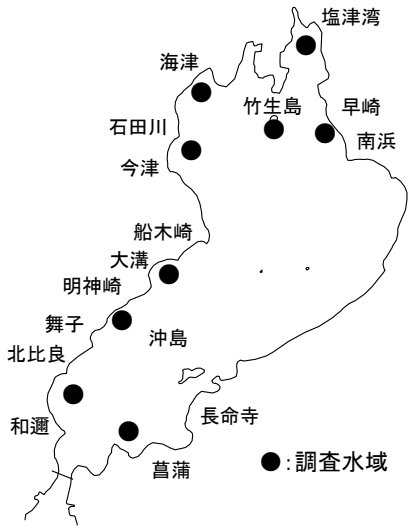

図1 生息状況調査水域

【調査結果】

- 全調査水域のヒウオの平均採捕尾数は、第1次調査では283尾/曳網で平年値（97尾/曳網）の292%、第2次調査では68尾/曳網で平年値（65尾/曳網）の104%でした（表1）。
- 全調査水域のヒウオの平均体重は第1次調査で18.7mg、第2次調査で52.8mgであり、過年度の同時期と同程度の値でした（図2）。

表1 ヒウオ採捕尾数の経年比較（尾/曳網）

	第1次	第2次	第3次
2016	15	194	64
2017	50	6	3
2018	289	87	14
2019	52	70	20
2020	96	49	6
2021	332	431	179
2022	209	19	13
2023	17	13	2
2024	14	45	16
2025	45	46	11
平年値	97	65	18
2026	283	68	

※平年値は2016年から2025年までの最大値・最小値を除いたものの平均

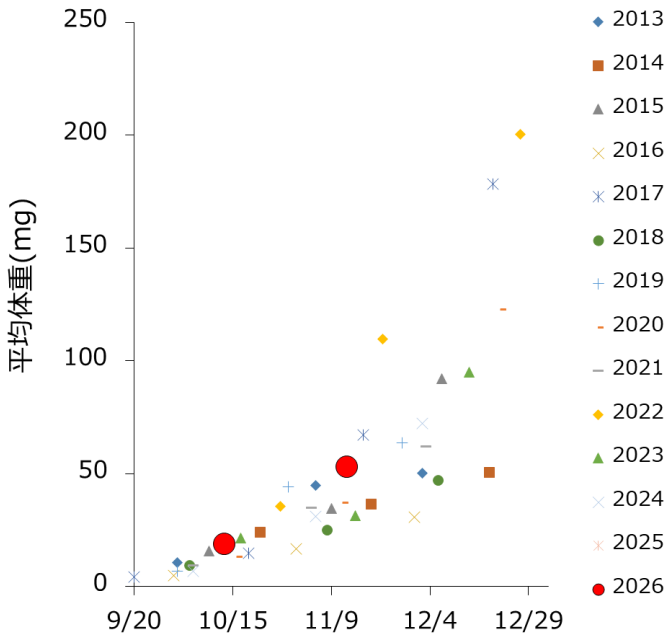

図2 調査日とヒウオ平均体重の関係

2. ふ化日組成調査

【目的・手法】

生息状況調査と同様の手法で、図3に示す4水域（△）の 水深約7m層と4水域のうち中央2水域の水深約15m層で水平方向に約1km曳網し、採捕されたヒウオの耳石を観察して解析することで、ヒウオが生まれた時期を把握しています。

【調 査 日】2026年9月28日、10月13日、10月30日、11月9および13日、11月25日
今後の調査予定：12月8日

【調査結果（11月13日調査までの速報）】

- 採捕されたヒウオのふ化日組成は9月10日～11月3日の範囲にあり、9月21日付近に大きなピークをもつ特徴がありました（図4）。
- 天然河川における産卵が9月 中下旬にふ化をむかえる時期に多かったことを反映していると考えられます（表2、図4）。



図3 ふ化日組成調査水域

図4 採捕されたヒウオのふ化日

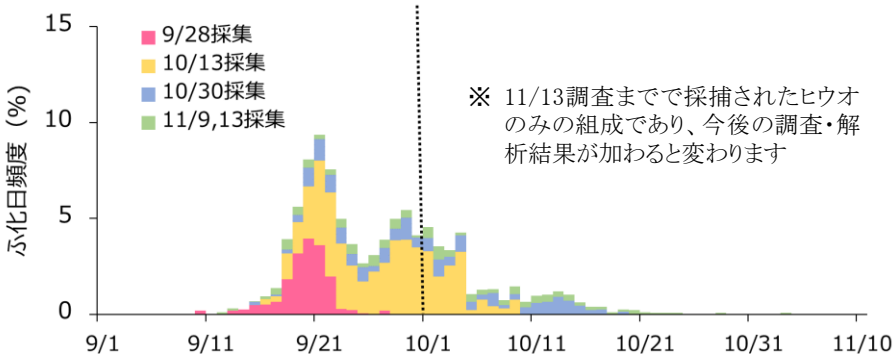

表2 天然河川における産卵調査結果

	第1次調査	第2次調査	第3次調査	第4次調査	第5次調査	合計
調査日	8/25-8/27	9/7-9/13	9/21-9/24	10/5-10/8	10/19-10/22	
産卵数（億粒）	0	**23.1**	14.0	7.6	1.2	45.9
ふ化時期	9月上旬	**9月中下旬**	10月上旬	10月中下旬	11月上旬	（平年の約8割）

3. 成育状況調査

【目的・手法】

12月の漁獲に貢献する9月生まれのヒウオの成育状況を把握するため、図5に示す水域（▲）で沖曳網によりヒウオを採捕し、ヒウオの体長と耳石日周輪間隔から1日あたりの成長量を推定しました。

【調 査 日】2026年11月13日

【調査結果】

- 9月 中旬生まれ、9月 下旬生まれのヒウオの成長量は、2025年の同時期のヒウオと比べて10月 上旬までは同程度からやや大きく、10月 中旬からはやや小さい特徴がありました。（図6）。



図5 成育状況調査水域

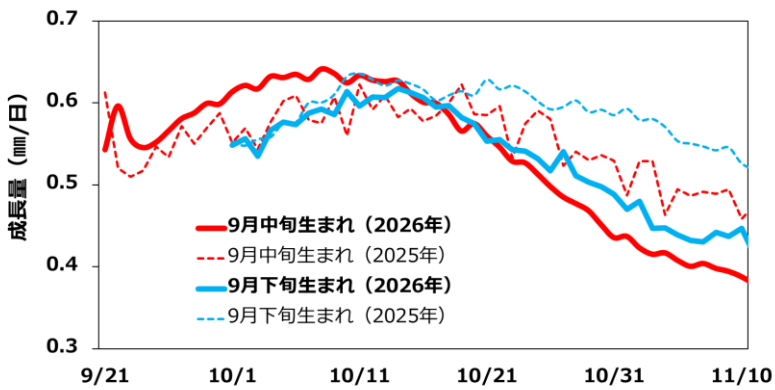

図6 9月 中旬・下旬生まれのヒウオの1日あたりの成長量